

平成20年10月30日

## 福知山FM放送 平成20年度第5回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成20年10月28日(火)午後6時～

2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地  
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム

3. 出席状況 総委員数 9名  
出席委員数 6名  
出席委員の氏名 大槻敦巳 委員  
足立 保 委員  
小西健司 委員  
田中定行 委員  
田邊千佐子委員  
藤田佳宏 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役社長 松井喜久夫  
局管理者 水嶋孝彦

4. 議 題 1) 福知山FM放送局概況報告  
2) 放送番組全般に対するご意見  
3) 次回番組審議会の開催日時について  
4) その他

5. 議事の概況

- 1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
- 2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役社長松井喜久夫が答申した。
- 3) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
- 4) その他、代表取締役社長松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。

## 6. 審議の内容

### 1) 福知山FM放送局概況報告

代表取締役社長松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

ア) 社員の移動について

イ) 番組審議会を先週10月21日に予定していましたが、過半数に達しなかった為本日の開催となった件

ウ) 8月31日福知山市地域防災訓練実況生中継を放送した件

エ) 10月18日第3回福知山産業フェア生中継を特別番組で放送した件及び産業フェア来場者を対象にアンケート調査(200名)を実施した件

オ) 8月27日から10月20日までの間でスタジオにゲスト出演して頂いた方が約40組、電話出演が約30組であった件

カ) 第18回福知山マラソンを実行委員会から予算を頂きまして中継をする予定であり、大手では出来ないコミュニティ放送らしい中継、地域に根付いた番組作りを行う予定である件。また、その中継に伴いマラソンの解説が出来る方をご紹介頂きたい件

### 2) 放送番組全般に対するご意見

大槻委員長の議事進行のもと、各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り

(委員) サイマル放送を楽しく聞いている。メディアプレーヤーは画面がスライドショーになっているので、それに四季折々の福知山が出せれば良いと思う。

パーソナリティが一日に何回か言っている地上デジタル放送でも聞く事が出来るというのはどの様にすれば良いのか。

(事務局) パソコン機能付き付きテレビと説明しています。

パソコン機能が付いていなければ聞くことが出来ません。

画像については、関係諸団体との手続きを進めています。

(委員) アンケート調査でFMキャスルを知っているパーセンテージは多いが高齢者のパーセンテージが少ない。

もう少し災害時の放送をしているという事を宣伝をしていけないかと考えている。

(事務局) 市にも改めて環境作りをお願いするつもりです。

ご存知のない方が多いという事で、市の広報を通じて行って頂けるとなっています。

(委員) FM放送、アンケートをみるとテレビが多いけど、平素はラジオをあまり聞かないのだね。

車に乗っていればラジオを聞くので、道路情報〇〇MHzとか書けば、災害時にも聞くようになるのでは。

(事務局) そのような放送も今後していこうかと思っています。

良い番組作りは我々として当然の責務であるが、災害時の放送が流れるという事が知ってもらえれば、リスナーも増え、またCMスポンサーも増えるという相乗効果になっていくのではと考えている。

(委員) 防災訓練の時、声が割れて聞きにくかった。

会場でアナウンスする声はよく聞こえたが実況放送の声が割れてにくかったが、モニターしている人はいるのか。

(事務局) はい。我々も現場にいましたので。

仕組み的には、本部の放送は直接ラインで我々中継器を通して流すものに対しては綺麗に流れる。

川辺で訓練されている部分についてはワイヤレスマイクを使ったんです。それらの反省を踏まえて、産業フェアについてもケーブル等設備についてもなるべく自前で用意して行った。今後も反省をもとに技術改善を行っていく。

(委員) スタジオにゲスト出演された方が原稿の棒読みになっていた。

パーソナリティとの事前協議、打ち合わせの中で、もう少し掛け合いという感じになった方が聞いている方が楽しい。

プロの方から事前に掛け合いになるような調整をしてオンエア出来れば良いと思う。

(事務局) ゲスト出演については、出来る限りリハーサルをしてやっていきたい。

(委員) 電話のやり取りは双方リラックスしてやっている。

特集、取材はパーソナリティが行っているのか？

(事務局) パーソナリティが企画する場合と制作主任の方から支持する場合と社内提案でする場合があります。

### 3) 次回番組審議会の開催日時について

大槻委員長の議事進行のもと、次回番組審議会の開催日時について協議した結果、1月27日(火)を仮押さえという事になる。

### 4) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。大槻委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第5回番組審議委員会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置  
特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表  
事務所に備置き 平成20年10月30日  
ホームページに掲載 平成20年 3月27日

9. その他  
特になし